

中小企業大学校仙台校における民間競争入札の延期について

平成 23 年 4 月 1 日

独立行政法人中小企業基盤整備機構

- (1) 独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下「機構」という。）が設置する中小企業大学校における企業向け研修に係る業務及び施設の運営等業務について、公共サービス改革基本方針（平成 22 年 7 月 6 日改定）において、平成 21 年度事業より実施している旭川校及び直方校に加え、機構の第 2 期中期目標期間中に、その他の大学校 7 校（仙台校、三条校、東京校、瀬戸校、関西校、広島校、人吉校）への官民競争入札又は民間競争入札の導入を図ることとされた。
- (2) 機構は、同基本方針に基づき、官民競争入札等監理委員会の了承を受け、本業務に係る措置に関する計画を策定し、平成 23 年度から民間競争入札による民間委託を実施することとした。
- (3) 同基本方針及び同計画に従い、官民競争入札等監理委員会の議を経た上で、7 校のうち 4 校（仙台校、瀬戸校、関西校、広島校）についての民間競争入札実施要項を策定し、平成 23 年 7 月から民間委託を行うこととした。
- なお、残る 3 校については、平成 23 年 10 月から民間委託を行うこととしている。
- (4) 先行する 4 校の入札手続きについては、平成 23 年 2 月 10 日に入札公告、2 月 18 日から 2 月 25 日に入札説明会を行い、入札に関する質問書への回答を 3 月 14 日に行うこととしていた。
- (5) ところが、3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、仙台校建物に甚大な被害を受け、本業務の実施が不可能な状態となった。
- （仙台校建物の主な損害）
- ・正面の天吊ガラス 2 枚が破損した。
 - ・ラウンジの天吊照明が変形し、落下する懸念がある。
 - ・建物内部の複数個所の天井板が落下した。
 - ・建物外周の一部が 10cm ほど陥没した。
 - ・その他外見上確認できない損害の有無や躯体の安全性の確認等の必要がある。
- (6) 機構では、この事態を受け、仙台校について、入札に関する質問書への回答を当面延期するとともに、平成 23 年度からの民間競争入札の実施の可否について検討を行った結果、仙台校建物が平成 23 年 7 月までに復旧する見通しが立たないことから、経済産業省中小企業庁及び官民競争入札等監理委員会事務局とも調整の上、仙台校については入札手続きを中止し、実施要項に定めた業務の実施環境が整うまで、平成 23 年度からの民間委託を延期することとした。

以上